2024 年度

岩手医科大学附属病院　高度看護研修センター

特定行為教育課程

募　集　要　項

（ 外科パッケージ・在宅パッケージ・選択コース 募集 ）

※ 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の状況によっては、変更の可能性がございます。

Iwate Medical University

Ⅰ．特定行為教育課程の概要

1. 特定行為研修の特徴

当院は、2015 年 3 月 13 日「保健師助産師看護師法第 37 条の 2 第 2 項第 1 号に規定する特定行為及び同項第 4 号に規定する特定行為研修に関する省令」（厚生労働省省令 33 号）の公布を受けて、さまざまな領域で手順書に則り特定行為を実践し、看護の専門性を高め役割モデルとなる看護師を育成します。2019 年の省令一部改正により、研修の内容及び時間数の精錬化を図るとともに、特定行為研修修了者の現場での活用に資すると考えられる領域において、実施頻度の高い特定行為をパッケージ化し、研修することが可能となりました。2021 年度からは外科術後病棟管理領域パッケージ（以下「外科パッケージ」という）及び在宅・慢性期領域パッケージ（以下「在宅パッケージ」という）を開講しました。

※「特定行為」とは、診療の補助であって、看護師が手順書により行う場合には、実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能が特に必要とされるものとして厚生労働省省令で定められるものをいう。

2. 教育理念

特定行為研修は、チーム医療のキーパーソンである看護師が、患者･国民や医師･歯科医師その他の医療スタッフから期待される役割を充分に担うため、医療安全に配慮し、在宅を含む医療現場において、高度な臨床実践能力を発揮し、自己研鑽を継続する基盤を構築することのできる看護師を育成する。

3. 教育目的

1．地域医療及び高度医療の現場において、迅速かつ包括的なアセスメントを行い、特定行為を行う上での知識、技術及び態度の基礎的能力を養う。

2．地域医療及び高度医療の現場において、患者の安全に配慮しつつ、特定行為を実践できる基礎的能力を養う。

3．地域医療及び高度医療の現場において、問題解決にむけてチーム医療の中心的な役割を果たし、多職種と効果的に協働できる能力を養う。特定行為を行う看護師として、実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識・技能・態度を身につける。

4. 募集人数

外科パッケージ	３名
在宅パッケージ	７名
選択コース	３名

5. 履修行為区分

外科パッケージ	呼吸器(気道確保に係るもの)関連 ・経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整
	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 ・侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・非侵襲的陽圧換気の設定の変更
	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連 ・気管カニューレの交換
	胸腔ドレーン管理関連 ・低圧胸腔内持続吸引器の吸引圧の設定及びその変更 ・胸腔ドレーンの抜去
	腹腔ドレーン管理関連 ・腹腔ドレーンの抜去
	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連 ・中心静脈カテーテルの抜去
	栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連 ・末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入
	創部ドレーン管理関連 ・創部ドレーンの抜去
	動脈血液ガス分析関連 ・直接動脈穿刺法による採血
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 ・持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整
	術後疼痛管理関連 ・硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整
	循環動態に係る薬剤投与関連 ・持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整 ・持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整
在宅パッケージ	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連 ・気管カニューレの交換
	ろう孔管理関連 ・胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換
	創傷管理関連 ・褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 ・脱水症状に対する輸液による補正
選択コース (【選択】の分野から単独あるいは複数の分野を選択可能)	【必修】栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連
	【選択】呼吸器（気道確保に係るもの）関連
	【選択】呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連
	【選択】呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連
	【選択】ろう孔管理関連
	【選択】創傷管理関連
	【選択】創部ドレーン管理関連
	【選択】動脈血液ガス分析関連

6. 教科目と時間数

【外科パッケージ】

<table>
<tr><th colspan="2">科目名</th><th>時間数
(科目毎)</th><th>時間数
(合計)</th></tr>
<tr><td rowspan="7">共通科目</td><td>臨床病態生理学</td><td>30</td><td rowspan="7">252</td></tr>
<tr><td>臨床推論</td><td>45</td></tr>
<tr><td>フィジカルアセスメント</td><td>47</td></tr>
<tr><td>臨床薬理学</td><td>45</td></tr>
<tr><td>疾病・臨床病態概論</td><td>40</td></tr>
<tr><td>医療安全学</td><td rowspan="2">45</td></tr>
<tr><td>特定行為実践</td></tr>
<tr><td rowspan="14">区分別科目</td><td>呼吸器(気道確保に係るもの)関連
・経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整</td><td>21</td><td rowspan="13">296</td></tr>
<tr><td>呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連
・侵襲的陽圧換気の設定の変更
・非侵襲的陽圧換気の設定の変更</td><td>39</td></tr>
<tr><td>呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連
・気管カニューレの交換</td><td>20</td></tr>
<tr><td>胸腔ドレーン管理関連
・低圧胸腔内持続吸引器の吸引圧の設定及びその変更
・胸腔ドレーンの抜去</td><td>36</td></tr>
<tr><td>腹腔ドレーン管理関連
・腹腔ドレーンの抜去</td><td>19</td></tr>
<tr><td>栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連
・中心静脈カテーテルの抜去</td><td>18</td></tr>
<tr><td>栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連
・末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入</td><td>23</td></tr>
<tr><td>創部ドレーン管理関連
・創部ドレーンの抜去</td><td>16</td></tr>
<tr><td>動脈血液ガス分析関連
・直接動脈穿刺法による採血</td><td>21</td></tr>
<tr><td>栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連
・持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整</td><td>23</td></tr>
<tr><td>術後疼痛管理関連
・硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整</td><td>18</td></tr>
<tr><td>循環動態に係る薬剤投与関連
・持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整
・持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整</td><td>36</td></tr>
<tr><td>科目試験</td><td>6</td></tr>
<tr><td>臨地実習</td><td>2カ月程度</td><td></td></tr>
</table>

【在宅パッケージ】

<table>
<tr><th colspan="2">科目名</th><th>時間数
（科目毎）</th><th>時間数
（合計）</th></tr>
<tr><td rowspan="7">共通科目</td><td>臨床病態生理学</td><td>30</td><td rowspan="7">252</td></tr>
<tr><td>臨床推論</td><td>45</td></tr>
<tr><td>フィジカルアセスメント</td><td>47</td></tr>
<tr><td>臨床薬理学</td><td>45</td></tr>
<tr><td>疾病・臨床病態概論</td><td>40</td></tr>
<tr><td>医療安全学</td><td rowspan="2">45</td></tr>
<tr><td>特定行為実践</td></tr>
<tr><td rowspan="6">区分別科目</td><td>呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連
・気管カニューレの交換</td><td>20</td><td rowspan="5">120</td></tr>
<tr><td>ろう孔管理関連
・胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換</td><td>29</td></tr>
<tr><td>創傷管理関連
・褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去</td><td>45</td></tr>
<tr><td>栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連
・脱水症状に対する輸液による補正</td><td>23</td></tr>
<tr><td>試験</td><td>3</td></tr>
<tr><td>臨地実習</td><td>1ヶ月程度</td><td></td></tr>
</table>

【選択コース】

<table>
<tr><th colspan="2">科目名</th><th>時間数
（科目毎）</th><th>時間数
（合計）</th></tr>
<tr><td rowspan="7">共通科目</td><td>臨床病態生理学</td><td>30</td><td rowspan="7">252</td></tr>
<tr><td>臨床推論</td><td>45</td></tr>
<tr><td>フィジカルアセスメント</td><td>47</td></tr>
<tr><td>臨床薬理学</td><td>45</td></tr>
<tr><td>疾病・臨床病態概論</td><td>40</td></tr>
<tr><td>医療安全学</td><td rowspan="2">45</td></tr>
<tr><td>特定行為実践</td></tr>
<tr><td rowspan="11">区分別科目</td><td>【必修】栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連</td><td>41</td><td>【必修 41】</td></tr>
<tr><td>【選択】呼吸器（気道確保に係るもの）関連</td><td>22</td><td rowspan="9">＋
【選択区分】
の各時間数</td></tr>
<tr><td>【選択】呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連</td><td>75</td></tr>
<tr><td>【選択】呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連</td><td>21</td></tr>
<tr><td>【選択】ろう孔管理関連</td><td>48</td></tr>
<tr><td>【選択】創傷管理関連</td><td>71</td></tr>
<tr><td>【選択】創部ドレーン管理関連</td><td>17</td></tr>
<tr><td>【選択】動脈血液ガス分析関連</td><td>38</td></tr>
<tr><td>試験</td><td>区分に応じて
1～2程度</td></tr>
<tr><td>臨地実習</td><td>区分に応じて
1～2ヶ月程度</td></tr>
</table>

※共通科目252時間のうち、192時間はeラーニングでの受講になります。
月2～7日程度の集合研修を実施します。区分別科目については、講義分はeラーニング、演習・実習は集合研修となります（区分により時間数が異なります）。

7. 実施日程

2024年4月上旬	開講式・ガイダンス
2024年4月～7月	共通科目(eラーニング、演習)
2024年8月～10月	区分別科目(eラーニング、演習、実習)
2024年10月下旬～2025年2月下旬	臨地実習
2025年3月下旬	修了式

8. 実習施設

自施設

※原則、自施設実習もしくは、その地域の病院等での実習です。受験にあたっては、自施設の実習の進め方を所属施設の看護管理者と検討して下さい。自施設での実習により、受講生は指導医から継続して指導を受けることができ、特定行為研修修了後の円滑な実践に移行することを目的としています。また、実施施設においても、実習を通して、安全な活動基盤を整えることに繋がります。ただし、訪問看護ステーション等実習施設を持たない施設は考慮します。

※実習施設（自施設）には、高度看護研修センターの特定行為連携協力施設として、連携協力体制（指導者、医療安全管理、緊急時の対応、患者への同意説明体制、該当症例数の確保等の要件を満たす体制等）に関する書類を作成していただきます。書類は、開講式後に高度看護研修センターに提出していただき（2024年5月頃)、高度看護研修センターより東北厚生局へ提出します。

※岩手医科大学附属病院での実習の場合は、岩手医科大学附属病院、医療法人友愛会　盛岡友愛病院、医療法人葵会　もりおか往診ホームケアクリニック、盛岡つなぎ温泉病院で行います。

Ⅱ．受験相談会

オンラインによる受験相談会を実施します。受験を希望される方は、ホームページを確認してください。

Ⅲ．応募要項

1. 応募期間

募集　2023年7月20日（木）～　8月18日（金）※消印有効

2. 出願資格

受講申請にあたっては、次に定める要件を満たしていること。

●日本国の看護師免許を有する者

●５年以上の実務経験を有する看護師

●所属長（看護部長あるいは同等職位の所属長）の推薦を有する者

3. 出願書類

受講申請書（様式 1～9）は以下のホームページよりダウンロードして下さい。

https://www.hosp.iwate-med.ac.jp/ant/

書類名		様式	５年以上の実務経験を有する看護師	認定看護師
(１)受講申請書		様式 1	●	●
(２)履歴書		様式 2	●	●
(３)受講申請許可書(受講同意書)		様式 3	●	●
(４)推薦書		様式 4	●	●
(５)	実践活動報告書	様式 5-1		●
	実践活動報告書（特定行為研修修了看護師）	様式 5-1	※特定行為研修修了看護師のみ	
(６)	認定看護師としての実践報告	様式 5-2		●
	特定行為研修修了看護師としての実践報告	様式 5-2	※特定行為研修修了看護師のみ	
(７)実務研修報告書		様式 6	●	
(８)勤務証明書		様式 7	●	●
(９)事例報告 1		様式 8	●	
(10)事例報告 2		様式 9	●	
(11)看護師免許証（写し）1 部			●	●
(12)公益社団法人日本看護協会 認定看護師認定証（写し）1 部				●
(13)特定行為研修修了証（写し）1 部 （特定行為研修を修了し、区分別科目のみの出願の場合）			※特定行為研修修了看護師のみ	
(14)受験票返信用封筒 (長形 3 号封筒に返信先の郵便番号、住所、氏名を記入し、切手 344 円分を貼付して下さい。) ※郵便料 84 円＋速達料 260 円			●	●

※特定行為研修修了者で区分を選択して受講を希望する場合は、出願書類について、別途、当センターへご確認下さい。

4. 検定料

<u>22,000 円</u>（税込）　内訳）検定料 20,000 円＋消費税 2,000 円

納入済みの検定料は、原則として返還いたしません。

以下の振込先に振込んで下さい。

≪振込先≫

岩手銀行　本町支店　普通預金　口座番号：2039440

振込名義：学校法人（ガッコウホウジン）　岩手医科大学（イワテイカダイガク）

お振込みの際、ご依頼人氏名の前に『**特定**』を入れて下さい。

5. 出願方法

封筒の表に、「特定行為研修受講申請書類　在中」と朱書で明記し、レターパックプラスで以下の送付先へ郵送して下さい。

≪出願書類送付先≫
〒028-3695　岩手県紫波郡矢巾町医大通二丁目１番１号
岩手医科大学附属病院　高度看護研修センター　特定行為教育課程　宛

出願書類一式を審査し、受験が認められた方には、受験票を郵送します。受験票が届かない方は、高度看護研修センター（019-613-7111（内線 6160））までご連絡下さい。受験票は、必ず受験時に携帯して下さい。

6. その他

受講申請書類により取得した個人情報は厳重に管理され、受講選考業務のために利用し、それ以外の目的に利用することはありません。

Ⅳ. 受講選考

1. 選抜試験実施日・内容等

試験実施日	会場	時間	試験内容
2023年9月20日（水）	岩手医科大学　矢巾キャンパス	9：00～10：00	小論文
	〒028-3694 岩手県紫波郡矢巾町医大通 1-1-1	10：15～	面　接

2. 選考結果

選考結果を本人宛に郵送で通知します。また、岩手医科大学附属病院高度看護研修センターホームページに合格者の受験番号を掲載します。電話や FAX での合否の問い合せは受け付けません。　https://www.hosp.iwate-med.ac.jp/ant/

合格発表日　2023 年 10 月 6 日（金）

Ⅴ．受講手続等

選考結果通知時に受講手続き内容を提示します。

1. 受講料

●外科パッケージ　990,000円　（税込）　内訳）受講料900,000円＋消費税90,000円

●在宅パッケージ　605,000円　（税込）　内訳）受講料550,000円＋消費税55,000円

●選択コース　共通科目、区分別必修科目（栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連）、区分別選択科目の受講料の合計です。以下の表をご参照ください。

（特定行為研修修了者で区分を選択して受講を希望する場合は、ご相談下さい。）

共通科目 (受講料)	区分別科目 (行為)		区分別科目 (受講料)
440,000円（税込） (受講料400,000円、消費税40,000円)	必修	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 ・持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 ・脱水症状に対する輸液による補正	88,000円（税込） (受講料80,000円、消費税8,000円)
	選択	呼吸器（気道確保に係るもの）関連 ・経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	44,000円（税込） (受講料40,000円、消費税4000円)
		呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 ・侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・非侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静剤の投与量の調整 ・人工呼吸器からの離脱	143,000円(税込) (受講料130,000円、消費税13,000円)
		呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連 ・気管カニューレの交換	44,000円（税込） (受講料40,000円、消費税4,000円)
		ろう孔管理関連 ・胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換 ・膀胱ろうカテーテルの交換	88,000円（税込） (受講料80,000円、消費税8,000円)
		創傷管理関連 ・褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去 ・創傷に対する陰圧閉鎖療法	121,000円(税込) (受講料110,000円、消費税11,000円)
		創部ドレーン管理関連 ・創部ドレーンの抜去	38,500円（税込） (受講料35,000円、消費税3,500円)
		動脈血液ガス分析関連（申請中） ・直接動脈穿刺法による採血 ・橈骨動脈ラインの確保	77,000円（税込） (受講料70,000円、消費税7,000円)

例）「呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連」と「創傷管理関連」を選択した場合

共通科目440,000円＋必修88,000円＋呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連44,000円＋創傷管理関連121,000円＝693,000円(税込)

2. 補助金等

岩手県の医療機関若しくは、訪問看護ステーション等の施設が本研修に、看護師を派遣した場合は、岩手県より以下の補助金の交付を受けることができます。詳しくは、岩手県保健福祉部医療政策室までご確認下さい。

●補助事業名　認定看護師等育成支援事業費補助金
●補助対象経費　入学金、受講料、その他教材費（補助事業者である派遣元病院等が負担した場合）
●補助上限額　700,000 円

Ⅵ. 問い合わせ先

岩手医科大学附属病院　高度看護研修センター
〒028-3695　岩手県紫波郡矢巾町医大通二丁目１番１号
MAIL : koudokango@j.iwate-med.ac.jp
TEL　: 019-613-7111（内線　6162）